



暑い日が続き、いよいよ夏本番です。今月からプール遊びが開始となり、子ども達のワクワクとした様子が伝わってきます。元気いっぱい楽しんで元気いっぱい過ごしていきましょう。先月は乳児クラスを中心に、手足口病やヘルパンギーナなどの感染報告が多数ありました。現在はほぼ終息していますが、まだまだ油断はできませんので、手洗いうがいなどで予防をしていきましょう。

## 熱中症に気をつけて！



熱中症は、日射病・熱射病などの総称です。

日射病は直射日光にさらされたことで起こり、熱射病は気温の高い環境下に長時間居たことにより起こります。

症状は顔の紅潮、めまい、吐き気、頭痛、ふらつきなどが起こります。特に子どもは体温調節がうまくできません。衣服の調節や水分補給のタイミングなど一人でやるのが難しいのでより注意しましょう。またベビーカーを使用するときも要注意です。地面により近い位置になるので、体感温度は2~3℃高いと言われています。車中も高温になりやすい環境なので、お子さんを一人残していくのはやめましょう。



## ●予防のポイント●



- ①帽子をかぶって出かけるようにしましょう。
- ②暑い時間帯の散歩は避けましょう。
- ③炎天下での長時間の遊びは避けましょう。30分毎に日陰で水分を取って休憩しましょう。  
※水分補給には水や麦茶が適しています。ジュースや牛乳などは身体に吸収されるまでに時間がかかるので適していません。

## ●もしも、熱中症になってしまったら…●

- ①涼しい所に寝かせ、首・わきの下・足の付け根に冷却材を当てて体を冷やしましょう。
- ②少量ずつ数回に分けて水分を与えます。一度に大量の水分を摂取すると、嘔吐を誘発することがあります。

### 【こんな時には病院受診をしましょう】

呼びかけに答えない、おしっこが出ない、体温が40℃以上、痙攣を起こしている。

## ●水いぼ（伝染性軟属腫）●

柔らかい皮膚にできる、ウイルス性のイボです。時間はかかりますが自然治癒します。つぶれてジュクジュクしていなければプールに入ることが出来ます。



## ●とびひ（伝染性膿痂疹）●

虫刺されや擦り傷に細菌が入り込むことで起こります。患部が完全に乾燥するまではプールに入ることができません。また直接触らないようにガーゼなどで保護してください。早めに病院受診もしましょう。

## ●6月の感染症統計●

- ・手足口病…8人
- ・溶連菌感染症…2人
- ・ヘルパンギーナ…1人
- ・突発性発疹…2人

## 《今月の保健行事》

- 4日（火） 身体測定（全園児）  
5日（水） 乳児健診（0.1.2歳児）